

声 明

私たちは、今日ここに、「12・1 不戦の集い 2022 年」に集まりました。
オンラインでこれに参加された方々もあります。

来る 2023 年の「学徒出陣」80 周年を前にして、いま、この時にも、ウクライナの地では、子どもたちも含めて無数の市民たちの恐怖の叫びが響き、戦場となった市街地では戦闘に動員された若者たちは固より、武器を向けられた市民たちの生命が次々に奪われているに違いありません。現役の学生たちを含む青年たちそれぞれの、これからの豊かな人生行路を思いますと、国籍と地域をこえて戦争の悲惨と愚劣を一日も早く、何としても止めなければなりません。

私たちは、来年の 12 月 1 日までの一年間、全国の大学が 80 年前に「学徒出陣」として自らの学生たちを送り出したことを心に刻み、戦没した学生たちを追悼・記念する行事を催して、大学が二度と再び戦場へ学生を送り出すことなく、自由な学問研究に邁進する意思をこの社会に宣明していただくことを呼びかけます。

そのために、かつて「出陣学徒壮行会」が行われた 10 月を期して、各大学がそれぞれの記念・追悼行事を催行する企画をたてていただくことを期待し、わだつみのこえ記念館はそれに協力して、東京都内の一般会場で「戦没学生遺稿・遺品展」と記念講演会等を実行する計画です。

どうか、次代の知識層の輩出を担う全国の大学がこの呼びかけに呼応してくださるよう、また、市民の皆さんがこれに熱烈なご支援をくださるよう、「12・1 不戦の集い」に参加された皆さんと共に訴えるものです。

2022 年 12 月 1 日

わだつみのこえ記念館